

令和4年度 第3回長岡市地域公共交通協議会

資 料

長岡市地域公共交通協議会

令和4年10月21日(金)

1. 策定までの進捗状況

○長岡市地域公共交通計画策定について、以下のフローに従って進めている。本協議会においては、赤枠で示す項目について協議する。

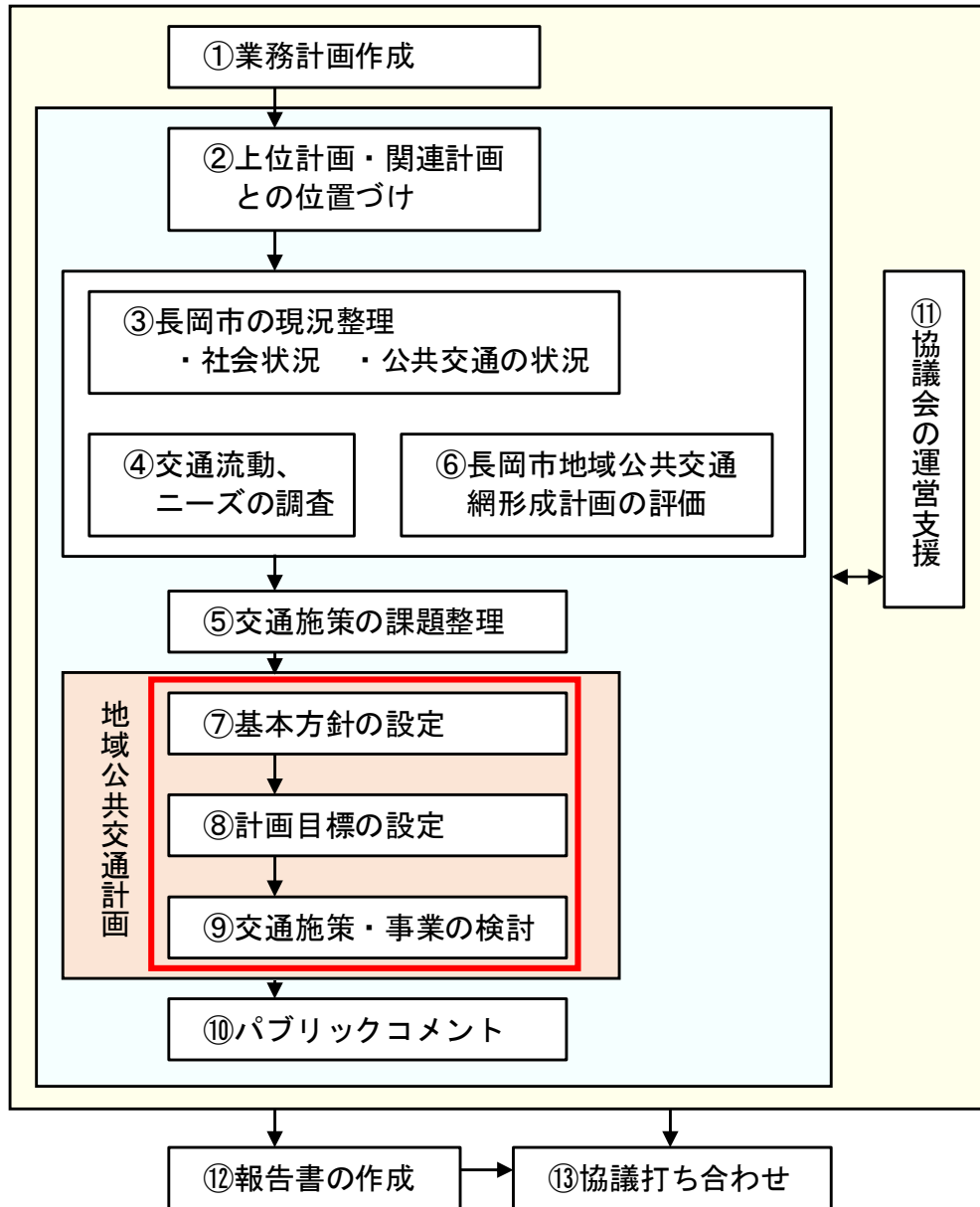


図 業務内容

(エヌシーイー (株) 業務計画抜粋)

基本方針の設定 (⑦)

計画目標の設定 (⑧)

1. 基本的な方針

これまでの検討結果、上位・関連計画を踏まえて、3つの基本的な方針を設定します。

- ① 誰もが安心して利用できる公共交通網の構築
- ② 地域の実情に応じた持続可能な公共交通サービスの提供
- ③ 市民・交通事業者・行政で取り組む公共交通の確立

【基本的な方針①】 誰もが安心して利用できる公共交通網の構築

- ・ 高校生や高齢者、障がい者、来訪者等にとって安心して利用できる公共交通
- ・ まちづくりや観光施策と連携し、目的地までわかりやすく移動しやすい公共交通

【基本的な方針②】 地域の実情に応じた持続可能な公共交通サービスの提供

- ・ 重要な役割を担う基幹路線や地域相互を連絡する路線の維持確保
- ・ 地域特性や需要に応じた移動手段の導入及び運行計画の検討
- ・ 利用実績や市民ニーズ等を踏まえ、財政負担を考慮した持続可能な公共交通

【基本的な方針③】 市民・交通事業者・行政で取り組む公共交通の確立

- ・ 行政や地域、事業者がお互いに協力しながら、公共交通を維持確保
- ・ 行政や事業者だけでなく、市民も主体的な意識を持って支える公共交通を目指した意識啓発

2. 公共交通体系概念図

基本的な方針を踏まえて、本市における公共交通体系を示します。

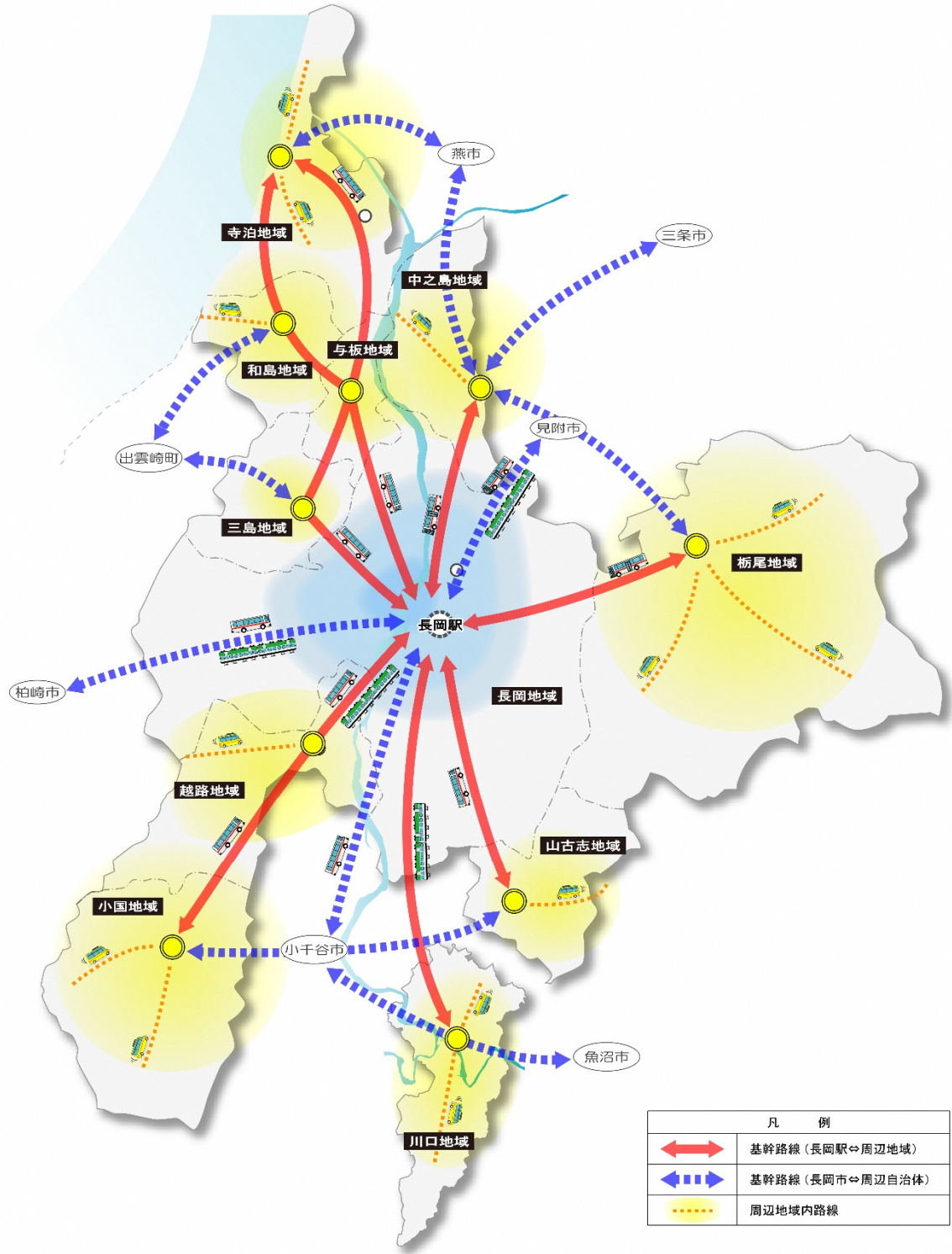


図 公共交通体系概念図

参考：本市で想定する公共交通補助対象路線

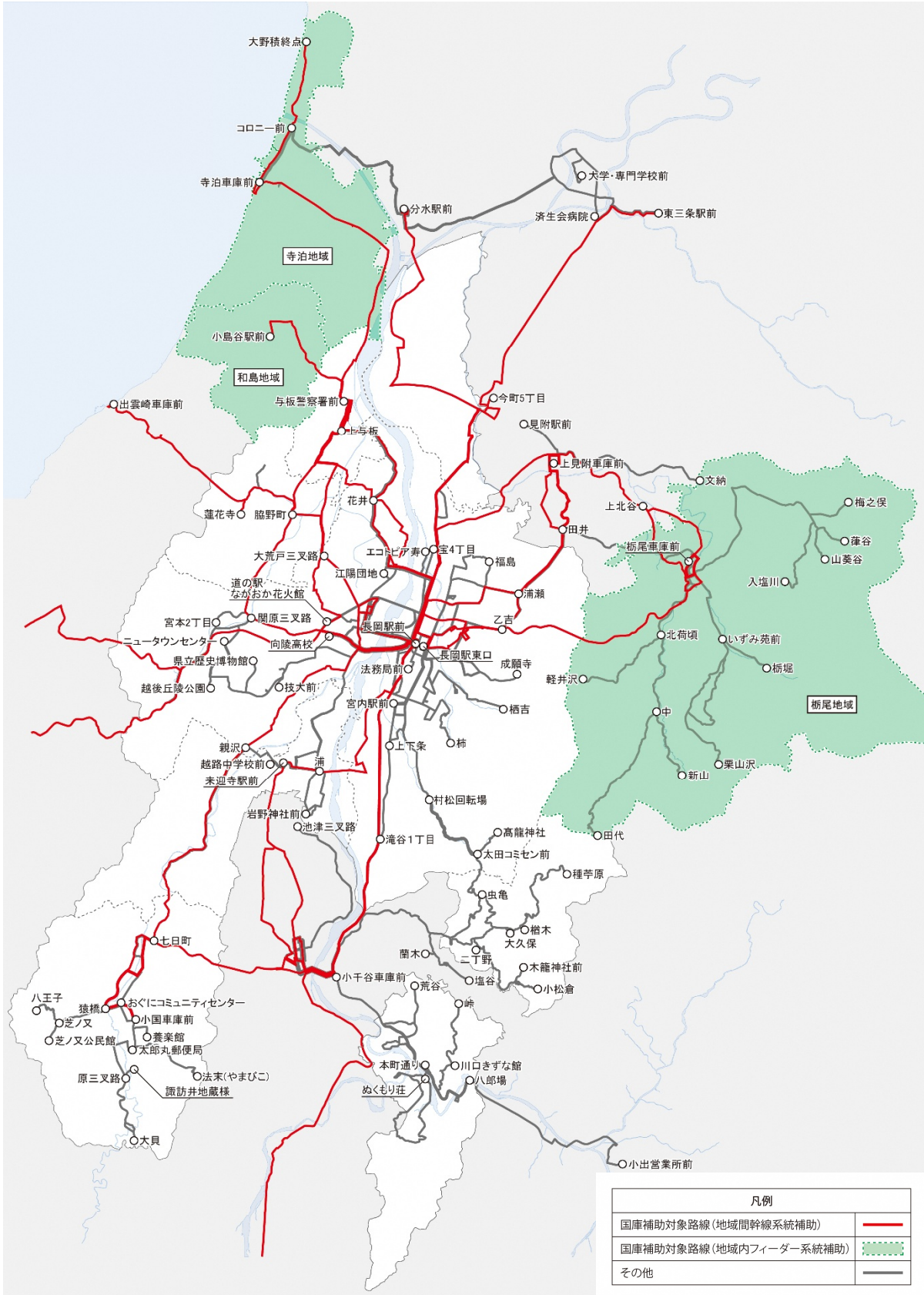


図 想定する補助対象路線の運行経路

3. 計画の目標

公共交通の課題および基本的な方針を踏まえて、目標を以下のとおり設定します。

- ①利便性の高い公共交通網を構築します
- ②地域に適した輸送資源で効率的な公共交通を運行します
- ③誰もが利用しやすい公共交通を実現します
- ④市民とともに考え、支える公共交通を目指します

【目標①】 利便性の高い公共交通網を構築します

内容	・既存の骨格（周辺地域と長岡駅を結んでいる基幹路線や高速バス、鉄道等）を基本とした公共交通網を構築し、利便性の高い公共交通サービスを提供します。
----	--

【目標②】 地域に適した輸送資源で効率的な公共交通を運行します

内容	・地域によって異なる利用状況やニーズに応じるため、地域の輸送資源の活用など効率化を図りつつ、適切に補助金を活用し、公共交通を維持します。
----	--

【目標③】 誰もが利用しやすい公共交通を実現します

内容	・高齢者や障がい者、来訪者など、多様な人々のニーズに対応した公共交通を実現します。
----	---

【目標④】 市民とともに考え、支える公共交通を目指します

内容	・持続可能な公共交通を実現するためには、市民の協力や理解が必要です。自家用車から公共交通への転換など、環境にも配慮しながら公共交通を維持します。
----	--

4. 目標達成状況の評価

設定した目標を評価する指標として、以下の評価指標及び参考指標を設定します。評価指標は目標値を設定し、計画の達成状況の評価し、参考指標は評価指標の達成状況を整理するにあたって、参考とする指標です。

目標
①利便性の高い公共交通網を構築します
②地域に適した輸送資源で効率的な公共交通を運行します
③誰もが利用しやすい公共交通を実現します
④市民とともに考え、支える公共交通を目指します

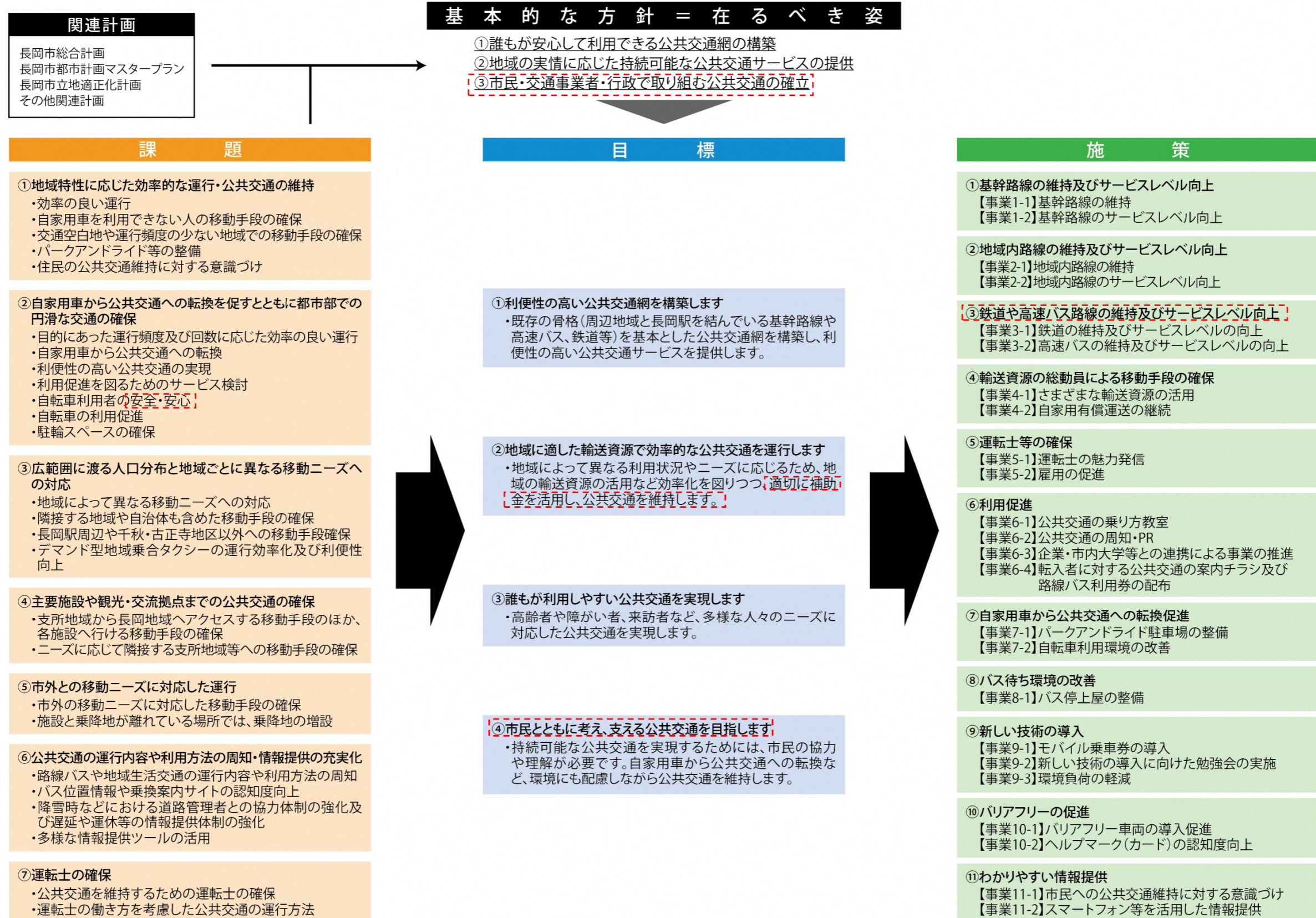


評価指標	参考指標
評価指標① 市民 1 人あたりの地域公共交通の利用回数 (回/月・人)	①高齢者の公共交通利用割合 (%) ②高校生の公共交通利用割合 (%) ③地域住民 1 人あたりの地域生活交通の利用回数 (回/月・人)
評価指標② 収支率 (%)	④高校生の自家用車送迎率 (%) ⑤まちなか居住区域におけるバス運行本数 (本/日)
評価指標③ 長岡市の財政負担額 (円/年・人)	⑥パークアンドライド用駐車場の整備割合 (%) ⑦自転車ブルーラインの整備距離 (km)
評価指標④ 公共交通カバー率 (%)	⑧JR 長岡駅の定期外利用者数 (人/年) ⑨運転士数 (人/年) ⑩路線バス低床バスの導入率 (%) ⑪バス停上屋の整備数 (件/年) ⑫公共交通サイトへのアクセス数 (回/年) ⑬キャッシュレス決済比率 (%) ⑭新しい技術の導入に向けた勉強会の開催数 (回/年) ⑮市民参加の公共交通協議会・検討会等の開催数 (回/年)

交通施策・事業の検討 (9)

5. 目標達成のために行う施策・事業

公共交通の課題および基本的な方針を踏まえて設定した目標を達成するため、以下の施策・事業を進めていきます。



施策1 基幹路線の維持及びサービスレベル向上

■背景

○長岡市内における路線バスの利用者は年々減少しており、利用者の減少によって運行本数も減少し、バスの利便性が低下することで、市民の路線バス利用がさらに減少してしまうという負のスパイラルに陥っています。このまま利用者が減少すると、路線バスの廃止等につながり、移動手段を確保できない可能性があります。

■施策の内容

【事業 1-1】 基幹路線の維持

○周辺地域と長岡駅を結ぶ路線バスや長岡市と市外を結ぶ路線バスを基幹路線として維持するため、収支率が悪く維持が困難な路線については、補助金を活用しながら維持を図っていきます。

【事業 1-2】 基幹路線のサービスレベル向上

○路線バスを幹線として維持するため、多様なニーズを踏まえ、時間帯や経路など運行内容の見直しを進めていきます。その際、地域内路線との接続を円滑にするため、関係機関との調整を行います。



写真 路線バス

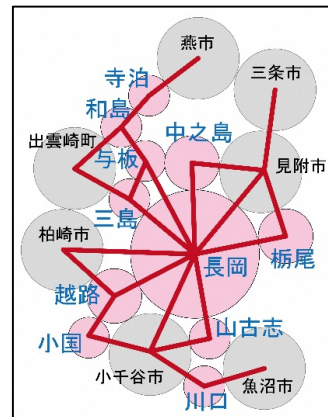


図 長岡市内の基幹路線

■施策の実施主体

○国、新潟県、長岡市、交通事業者

■施策の実施スケジュール

	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度
事業 1-1	継続実施 ●————→				
事業 1-2	継続実施 ●————→				

施策2 地域内路線の維持及びサービスレベル向上

■背景

○地域を運行する路線バスの利用者は年々減少しています。利用者の減少は路線の縮小や廃止につながり、住民の移動手段の確保が困難になる可能性があります。また、地域生活交通（デマンド型乗合タクシー）の利用者は高齢者が大半を占めており、路線の維持には利用者の拡大が必要です。

■施策の内容

【事業 2-1】 地域内路線の維持

○路線バスやデマンド型乗合タクシーによる住民の移動手段を確保するため、補助金を活用しながら路線の維持を図っていきます。

【事業 2-2】 地域内路線のサービスレベル向上

○路線バスでの運行を基本としつつ、利用状況や運行経費、地域ごとの移動ニーズ等を踏まえ、効率的な運行方法（デマンド型乗合タクシー等）への切り替えも含めた運行内容の見直しを進めていきます。

○デマンド型乗合タクシーは、運行状況や利用者のニーズなど、地域の実状を踏まえ、必要に応じて運行内容の見直しを検討していきます。



写真 栃尾地域デマンド交通「景虎号」



図 乗合タクシー統合によるサービスレベル向上の例

■施策の実施主体

○国、新潟県、長岡市、交通事業者

■施策の実施スケジュール

	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度
事業 2-1	継続実施 ●————→				
事業 2-2	栃尾地域デマンド交通移行 ●————→	継続実施 ●————→			

施策3 鉄道や高速バス路線の維持及びサービスレベル向上

■背景

○長岡市と近隣自治体を結ぶ公共交通として、路線バスだけでなく鉄道や高速バスも運行されていますが、これらの移動手段も利用者が減少し、路線や施設機能の縮小などサービスの低下が進んでいます。

■施策の内容

【事業3-1】鉄道の維持及びサービスレベルの向上

○市外への移動ニーズに対応した移動手段を確保するため、路線バスとの接続の改善など利便性向上を図ります。また、路線や施設機能の縮小などサービスの低下については、事業者や沿線自治体、各種協議会等で連携して対策を検討していきます。

【事業3-2】高速バスの維持及びサービスレベルの向上

○交通事業者や新潟県と連携し、高速バスと路線バスを組み合わせた運賃サービス（乗り放題バス）等を企画・実施します。また、パークアンドライド駐車場の活用を推進し、利用促進を図ります。



写真 JR長岡駅



写真 県内高速バス

■施策の実施主体

○新潟県、長岡市、沿線自治体、交通事業者

■施策の実施スケジュール

	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度
事業3-1	継続実施 ●				
事業3-2	継続実施 ●				

施策4 輸送資源の総動員による移動手段の確保

■背景

- 公共交通空白地や運行頻度が少ない地域、自家用車を利用できない学生や高齢者に対する移動手段の確保が必要です。また、目的に合った運行頻度及び回数に応じた効率の良い運行が必要です。

■施策の内容

【事業4-1】さまざまな輸送資源の活用

- 一部の地域で実施しているスクールバスを活用した移動手段を維持していきます。また、今後さまざまな輸送資源の活用の可能性が考えられる地域や路線等について、地域とともに検討します。
- オフピーク時におけるタクシーを活用した買い物等の移動支援サービスについて、導入の可能性が考えられる地域を検討し、実証実験を行います。

【事業4-2】自家用有償運送の継続

- 過疎地域における移動手段を確保するため、自家用有償運送を継続できるよう、利用促進を図るとともに、運行主体への支援等連携強化に取り組めます。



資料：姫路市社会福祉協議会

写真 買い物支援サービスの例



写真 自家用有償運送（黄色いバス）

■施策の実施主体

- 長岡市、交通事業者

■施策の実施スケジュール

	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度
事業4-1	地域の検討 ●	● 実証実験	● 効果検証	→	→
事業4-2	● 継続実施	→	→	→	→

施策5 運転士等の確保

■背景

- 交通事業者においては、運転士不足が深刻であり、路線の廃止や運行本数の削減などに迫られ、サービスの維持が難しい状況にあります。また、運転士を募集しても採用につながっていないなど、多くの課題を抱えています。

■施策の内容

【事業 5-1】 運転士の魅力発信

- 運転士という職業に対する理解度の向上を図るため、運転士の魅力や運転技術等を SNS 等の情報発信ツールを用いて発信します。
- バス運転体験等を含めた職場見学を実施し、運転士の確保を図ります。

【事業 5-2】 雇用の促進

- 交通事業者による資格取得支援制度を継続します。
- 柔軟な働き方に対応できるよう、勤務形態の見直しを図ります。



資料：新潟日報

写真 運転士による情報発信



資料：秋田経済新聞社

写真 バス運転体験会の様子

■施策の実施主体

- 長岡市、交通事業者

■施策の実施スケジュール

	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度
事業 5-1	随時実施 ●—————→				
事業 5-2	随時実施 ●—————→				

施策6 利用促進

■背景

- 公共交通利用者の減少により、このままでは路線・サービスの維持が難しい状況にあります。移動手段や利便性を確保するため、多方面から公共交通の利用促進を図る必要があります。

■施策の内容

【事業6-1】公共交通の乗り方教室

- 中学生を対象としたバスの乗り方教室を実施します。また、乗り方教室に合わせて、スマートフォンを活用した路線バス経路検索システムの使い方を周知します。
- 高齢者に対し地域生活交通（デマンド型乗合タクシー）の乗り方教室を実施します。

【事業6-2】公共交通の周知・PR

- 公共交通に関心をもってもらうため、バス車両展示等のイベントを継続的に実施します。
- 普段から公共交通を利用している方に対し活用事例を聞き取り、さまざまな活用事例を市民に発信し、利用促進を図ります。
- 1日乗車券等のお得な乗車券の利用を促進するため、来訪者や高齢者等に対して窓口での案内強化やSNS等の情報発信ツールを活用したPRを行います。

【事業6-3】企業・市内大学等との連携による事業の推進

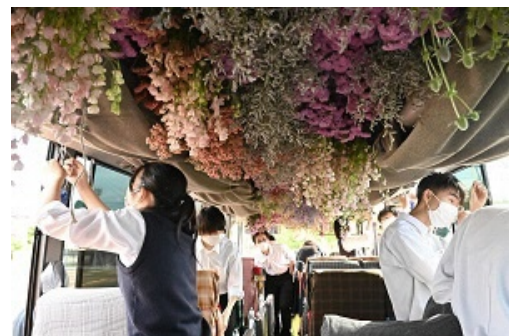
- 企業や市内大学等と連携し、公共交通の利用促進や情報発信、低炭素型社会の実現に向けたイベントの実施等に取り組みます。

【事業6-4】転入者に対する公共交通の案内チラシ及び路線バス利用券の配布

- 転入時に配布する資料の中に、公共交通の利用案内やマップを同封し、周知と利用促進を図ります。
- 合わせて、路線バスのお試し乗車券を配布し、バスの利用促進を図ります。



写真 乗り方教室の様子



資料：見附市
写真 バス車内装飾の例

■施策の実施主体

○長岡市、交通事業者、企業・大学等

■施策の実施スケジュール

	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度
事業 6-1	随時実施 ●————→				
事業 6-2	随時実施 ●————→				
事業 6-3	連携準備 ●————→	内容検討 ●————→	実施 ●————→	内容検討 ●————→	実施 ●————→
事業 6-4	実施 ●————→				

施策7 自家用車から公共交通への転換促進

■背景

- 市民の移動は自家用車に依存しており、環境負荷の増大や公共交通の利用者減少につながっています。そのため、自家用車から公共交通への転換を促す必要があります。

■施策の内容

【事業7-1】パークアンドライド駐車場の整備

- 寺泊駅前広場の整備を進めるほか、利用状況を勘案し、必要に応じて整備箇所の検討を進めます。

【事業7-2】自転車利用環境の改善

- 自転車走行空間を確保するため、ブルーライン等整備を進めます。
- 自転車の駐輪において、駐輪場利用などのルールについて、啓発活動を行います。



写真 寺泊駅の整備イメージ



写真 ブルーラインの設置例

■施策の実施主体

- 長岡市

■施策の実施スケジュール

	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度
事業 7-1	整備（寺泊駅） ●————→	整備（検討） ●————→			
事業 7-2	継続実施 ●————→				

施策8 バス待ち環境の改善

■背景

- バスの利用促進を図るため、誰もが安心して利用できるバス待ち環境の向上が必要です。

■施策の内容

【事業8-1】バス停上屋の整備

- バスの利便性向上を図るため、利用状況を踏まえながら、バス停の上屋整備を引き続き進めていきます。また、交通結節点としての利用が考えられるバス停についても整備を検討します。
- 地域団体等が整備するバス停上屋について、事業者と連携して整備を支援します。



写真 長岡造形大学前バス停（BOX型）



写真 喜多町バス停（片屋根型）

■施策の実施主体

- 長岡市、交通事業者

■施策の実施スケジュール

	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
事業8-1	継続実施 ●—————→				

施策9 新しい技術の導入

■背景

- ウィズコロナにおける非接触対応や、高校生を中心にキャッシュレス決済を望む声が挙がるなど、利便性向上に向けた新たな支払方法への対応が必要です。
- 交通事業者の定期券販売等をはじめとする窓口対応が大きな負担となっているため、効率化を図る必要があります。
- 長岡市内の公共交通の維持・効率化を図るため、新しい技術を含めた公共交通のあり方について検討を進めていく必要があります。

■施策の内容

【事業9-1】モバイル乗車券の導入

- モバイル乗車券を導入し、キャッシュレス化を図るとともに、定期券販売等の窓口負担の軽減を図ります。
- 導入と合わせて、モバイル乗車券の利用方法等について、周知します。

【事業9-2】新しい技術の導入に向けた勉強会の実施

- キャッシュレス決済や MaaS の導入に向けた勉強会を引き続き実施し、導入に向けた検討を進めます。

【事業9-3】環境負荷の軽減

- EVバスやEVタクシー等、新しい技術の車両導入を国・県と連携して促進します。



資料：レシップ

図 モバイル乗車券のイメージ



資料：アルファバスジャパン

図 EVバス

■施策の実施主体

- 国、新潟県、長岡市、交通事業者

■施策の実施スケジュール

	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度
事業 9-1	システム選定・ ●————→	実証実験	導入 ●————→		
事業 9-2	随時実施 ●————→		実証実験開始 ●————→		
事業 9-3	随時実施 ●————→				

施策 10 バリアフリーの促進

■背景

- 高校生や高齢者、障がい者、来訪者等誰にとっても安心して利用できる公共交通の実現が必要です。

■施策の内容

【事業 10-1】 バリアフリー車両の導入促進

- 誰もが利用しやすいよう、バリアフリー車両の導入を引き続き促進し、利便性向上を図ります。

【事業 10-2】 ヘルプマーク（カード）の認知度向上

- 公共交通利用者の中にはヘルプマーク（カード）を示し、手助けを必要としている方もいるため、市役所やバス車内等におけるポスターの掲示等でヘルプマーク（カード）の認知度向上を図り、誰もが利用しやすい公共交通を推進していきます。



写真 ノンステップバス



資料：新潟県

図 ヘルプマーク及びヘルプカード

■施策の実施主体

- 長岡市、交通事業者

■施策の実施スケジュール

	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度
事業 10-1	継続実施 ●————→				
事業 10-2	継続実施 ●————→				

施策 11 わかりやすい情報提供

■背景

- 長岡市が路線バスやコミュニティバス等の維持のために支出している補助金は約 1.6 億円（R2 年度）となっており、コロナ禍での利用者の減少などにより、今後は更なる増加が見込まれています。人口減少下において公共交通を維持していくには、行政や交通事業者だけでなく、市民も一緒に支えていくという意識の醸成が必要となってきています。
- 公共交通利用者から、天候の影響を受けにくいバスの運行を望む声が挙がっています。

■施策の内容

【事業 11-1】市民への公共交通維持に対する意識づけ

- 市民が参加する公共交通協議会や検討会、市ホームページ等を通じ、公共交通の現状を発信し、身近な問題として捉えてもらうことにより、市民の公共交通維持への理解度を深めます。

【事業 11-2】スマートフォン等を活用した情報提供

- 経路検索システムとバス位置情報システム「ながおかバス i」の一体化や、GTFS データの整備による情報発信サイトの拡大により、検索の利便性向上を図ります。
- SNS 等の情報発信ツールを活用したりリアルタイムの運行情報を発信します。



資料：NAVITIME

図 経路検索システムの検索結果



資料：ながおかバス i

図 ながおかバス i の検索結果

■施策の実施主体

- 長岡市、交通事業者、市民

■施策の実施スケジュール

	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度
事業 11-1	随時実施 ●————→				
事業 11-2	システムの検討 ●————→	導入 ●————→			